

芸術の森地区 学校跡活用検討会議のおしらせ

芸術の森地区では、石山東小学校と常盤小学校が統合し、令和3年4月に芸術の森小学校が開校しました。このおしらせでは、常盤小学校の跡活用の検討状況について、地域住民の皆さまに随時お知らせしてまいります。

～このニュースはまちづくりセンターなどで配布しています～

常盤小学校の跡活用について、ご意見がございましたら、
最終ページの連絡先にお寄せください。

第6回検討会議について

令和5年11月14日（火曜日）午後6時から、芸術の森地区まちづくりセンターにおいて、第6回目の会議を開催し、引き続き学校の跡活用について検討しました。

◆委員の交代等

芸術の森地区連合会および芸術の森小学校 PTA の役員交代に伴い、以下のとおり委員の交代・追加がありました。

	氏名（敬称略）	役職等
交代	山田 隆吉	芸術の森地区連合会 副会長・総務部長（常盤一区町内会 会長）
	横濱 充宏	芸術の森地区連合会 福祉部長（真駒内アートパークタウン町内会 会長）
就任	瀧ヶ平 麻希子	芸術の森小学校 PTA 副会長

◆委員構成

（敬称略・順不同）

氏名	役職等
下総 仁志 （代表委員）	芸術の森地区連合会 会長（常盤団地町内会 会長）
佐藤 優司	芸術の森地区連合会 副会長・芸術文化部長（芸術の森スポーツ振興会 会長）
中田 たみ子	芸術の森地区連合会 副会長（地縁団体見晴町内会 会長）
山田 隆吉	芸術の森地区連合会 副会長・総務部長（常盤一区町内会 会長）
山屋 忠意	芸術の森地区連合会 会計部長（石山東町内会 会長）
横濱 充宏	芸術の森地区連合会 福祉部長（真駒内アートパークタウン町内会 会長）
山室 政憲	芸術の森地区連合会 監事（サンブライト真駒内町内会 会長）
塩田 恒雄	芸術の森地区社会福祉協議会 会長

檜原 友紀子	芸術の森小学校 PTA 会長
小川 こすえ	芸術の森小学校 PTA 副会長
瀧ヶ平 麻希子	芸術の森小学校 PTA 副会長
成田 和男	芸術の森地区まちづくりセンター所長

検討会議に寄せられた意見

令和4年9月1日に開催した第5回検討会議以降、事務局に寄せられた意見はありませんでした。

常盤小学校跡活用 今後の方向性について

事務局から、常盤小学校の2回目の公募の概要と結果、この結果を踏まえた今後の方向性(案)について説明し、意見交換を行いました。

◆2回目の公募の概要と結果

■最低売却価格 2,220万円（税抜）※不動産鑑定士の鑑定に基づく。

■主な売却条件（※1回目の公募と同じ条件）

- ① 地域コミュニティの維持・向上につながる場の設置（利用料金はできる限り低廉）
- ② 緊急時の避難場所の提供（無料）

※上記のほかに、地域との協力体制の構築や購入後10年間は事業計画書の内容のとおり事業を実施することなどを条件としました。

■公募スケジュール

令和4年	12月5日	募集要項の配布開始
令和5年	1月30日～2月3日	応募書類受付 【申込者数3者】
	3月9日	書類審査
	4月13日	書類・ヒアリング審査

■結果

3者から応募があり、「旧常盤小学校公募提案審査委員会」において審査を行いました。いずれの提案も売却条件又は最優秀提案者の選定基準に適合しなかったため、最優秀提案者の選定に至りませんでした。

選定に至らなかった要因の一つとして、募集要項に定める各条件（地域貢献活動だけでなく、土地利用の制限への適合等）について十分理解されていなかった可能性が考えられます。

◆公募結果を踏まえた今後の方向性(事務局提案)

前回公募と同じ売却条件でサウンディング型市場調査を行い、活用意欲のある民間事業者を確認できたら、3回目の公募提案型売却を実施する。

サウンディング型市場調査とは…

施設概要や跡活用の基本的な考え方などを公表した上で、興味・関心のある事業者と対話し、活用意欲や売却条件の実現可能性を把握する調査

公募提案型売却（プロポーザル）とは…

学識経験者等により構成する審査委員会を設置の上、事業内容や経営状況、地域貢献活動など、各事業者の提案内容等を総合的に審査し、契約候補者を決定する売却方法

＜公募条件＞（※前回の公募と同じ条件）

- ・ 地域コミュニティの維持・向上につながる場を設けること
- ・ 地域住民が緊急時の避難場所として利用できること

＜備考＞

- ・ 前回公募の結果を踏まえて、募集要項で定める各条件が応募者に分かりやすく伝わるよう工夫する。
- ・ サウンディング型市場調査で活用意向が確認できなかった場合、または3回目の公募提案型売却で最優秀提案者の選定に至らなかった場合の対応は、改めて協議させていただきます。（建物を解体し、更地で売却することも含め検討）

◆今後の想定スケジュール（スケジュールは変更になる可能性があります。）

令和5年		令和6年									
11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
跡活用検討会議		不動産鑑定			サウンディング型市場調査			跡活用検討会議	公募手続き開始		

質問・意見など

委員から、事務局の説明に対して以下のとおり質問や意見がありました。

- 閉校により避難所まで遠くなってしまったので、旧常盤小学校は避難所としての機能がある施設として活用されてほしいが、避難場所を無料で提供するの难道いではないかと懸念する。

(札幌市回答)

今後、サウンディング型市場調査を実施して民間事業者と対話し、活用意欲や売却条件の実現可能性などについて確認する予定です。

- 体育館など跡施設の一部だけを活用したい事業者もいるかもしれないので、例えば、校舎・グラウンド・体育館を分割して売却することはできないか。

(札幌市回答)

札幌市としては、旧常盤小学校の跡地・跡施設を活用する予定がないため、一括して売却したいと考えています。

- 事務局提案のとおり、3回目の公募に向けて、サウンディング型市場調査を実施して事業者に興味を持ってもらえれば良い。

今回のまとめ

常盤小学校の跡活用については、以下のとおりとします。

前回公募と同じ売却条件でサウンディング型市場調査を行い、**活用意欲のある民間事業者を確認できたら、3回目の公募提案型売却を実施する。**

次回会議の予定

今後の会議は、必要に応じて随時開催します。

■ ご意見・ご質問は、下記までお寄せください ■

■ 常盤小学校の跡活用に関すること

札幌市まちづくり政策局 都市計画部 地域計画課（調整担当）

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎5階

TEL：011-211-2545 FAX：011-218-5113 E-mail：chiiki-chosei@city.sapporo.jp

■ 会議の運営に関すること

札幌市教育委員会 生涯学習部 学校施設課（学校配置マネジメント担当）

〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 STV北2条ビル5階

TEL：011-211-3836 FAX：011-211-3837 E-mail：gakkokibo@city.sapporo.jp

※ 当おしらせや公募の実施状況については、以下、札幌市のホームページに掲載しています。

<札幌市まちづくり政策局>

<https://www.city.sapporo.jp/keikaku/kougai/sonota/sonotachiiki.html>

<札幌市教育委員会>

<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/kentoutiiki.html>



さっぽろ市
02-B03-23-2535
R5-2-1543



SAPPORO